

安心を、ひとつ上のステージへ。



中小企業向けセキュリティソリューションと 協業モデルについて

トレンドマイクロ株式会社

マーケティング本部 坂本健太郎

トレンドマイクロ 会社概要

会社名	トレンドマイクロ株式会社 代表取締役社長 兼 CEO エバ・チェン (陳 怡芬) チェン イーフェン
所在地	東京本社 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿マインズタワー TEL 03-5334-3600(代表) FAX 03-5334-4008
営業所	大阪営業所、名古屋営業所、福岡営業所
設立	1989年10月24日
資本金	183.86億円
決算	12月
株式情報	東京証券取引所市場第1部 証券コード:4704 トレンド
営業品目	コンピュータ及びインターネット用 セキュリティ関連製品・サービスの開発・販売
社員数	4,727名 (2010年6月末現在 グループ全体)
売上高	964億円 (2009年度連結決算)
海外子会社	

米国、カナダ、アイルランド、フランス、ドイツ、イタリア、英国、スイス、オーストラリア、中国(上海)、中国(香港)、インド、韓国、マレーシア、ニュージーランド、シンガポール、台湾、タイ、ブラジル、メキシコ

海外販売拠点

ノルウェー、ベルギー、フィンランド、スウェーデン、オランダ、スペイン、トルコ、UAE(ドバイ)、デンマーク、ポーランド、サウジアラビア、チェコ共和国、ロシア



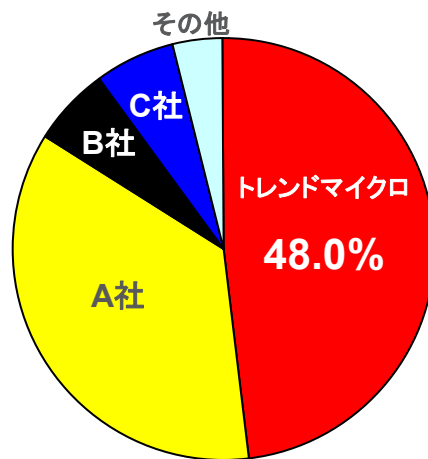
代表取締役兼CEO
エバ・チェン



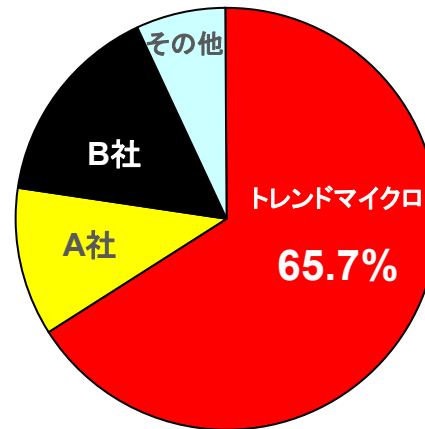
取締役 日本地域担当
大三川 彰彦

日本で最も支持されているセキュリティベンダ

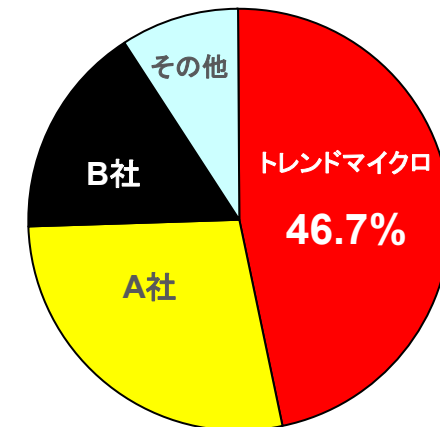
個人向け製品
(ウイルスバスター)



企業向け製品
(ゲートウェイ)



企業向け製品
(サーバ/クライアント/その他)



トレンドマイクロは、日本の家庭でも企業でも最もお客様に利用されているセキュリティ製品・サービスを提供しています。

企業のクライアントPC向けウイルス対策ツールでは約5割(46.7%)、ゲートウェイにおけるウイルス対策ツールでは約3分の2(65.7%)のシェアを占めています。

また、個人向けウイルス対策においても5割近い(48.0%)シェアを占めており、企業向け・個人向けともに首位のシェアにあります。

これらは、数多くのお客様に信頼いただいている証といえます。

出典：富士キメラ総研

「2010 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧(上巻)」
ウイルス対策ツール 2009年度実績値

安心を、ひとつ上のステージへ。

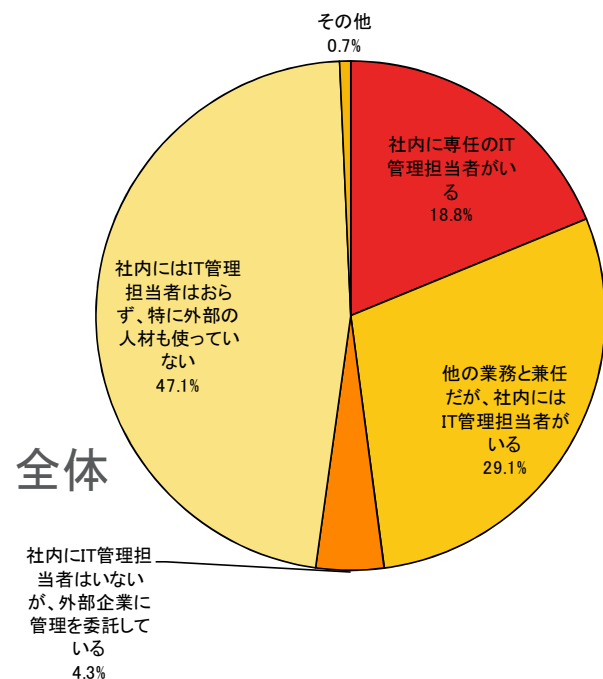


本セッションの内容

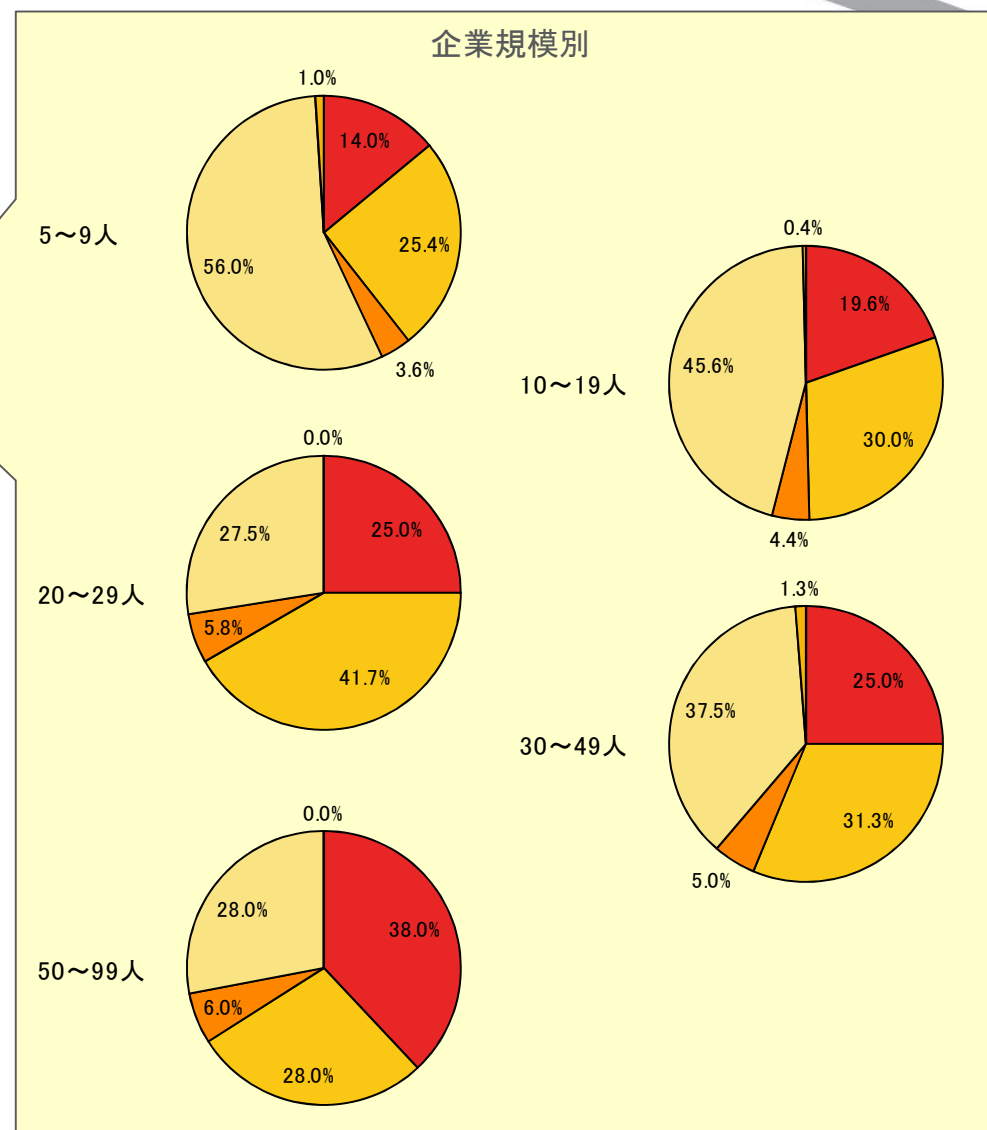
- 中小企業におけるセキュリティ対策の現状
- セキュリティ製品ビジネスのメリット
- トrendマイクロ提供製品
- ビジネスモデルについて

IT管理者の選任状況

Q3:ご回答者様の勤務先では、IT設備を管理されている方がおられますか。以下の選択肢より当てはまるものを一つお選び下さい。



「IT管理者が社内にいる」とした割合は、専任・兼任合わせて約48%。これを企業規模別に見ると、規模が大きくなるにつれてIT管理者を置いている企業の割合が増えることが分かる。

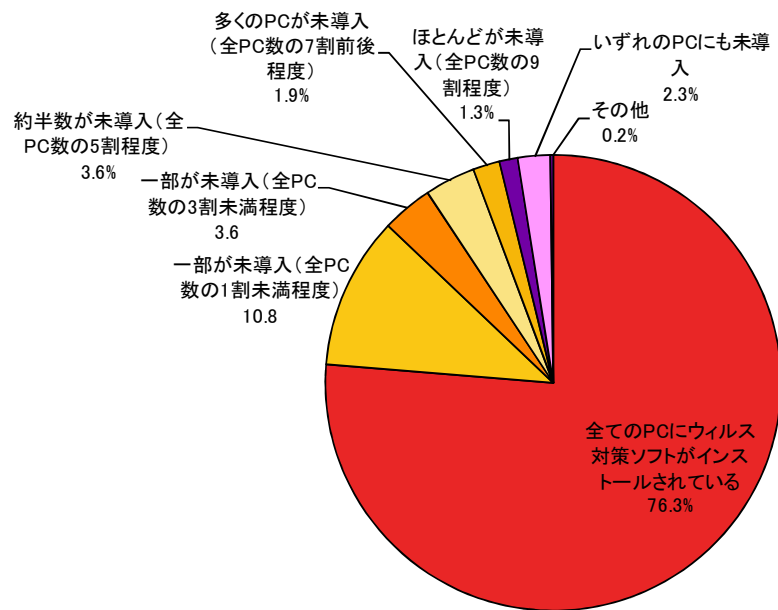


安心を、ひとつ上のステージへ。



ウィルス対策ソフトの導入状況

Q6:ご回答者様の勤務先のPCには、ウィルス対策ソフトがインストールされていますか。以下の選択肢より当てはまるものを一つお選び下さい。

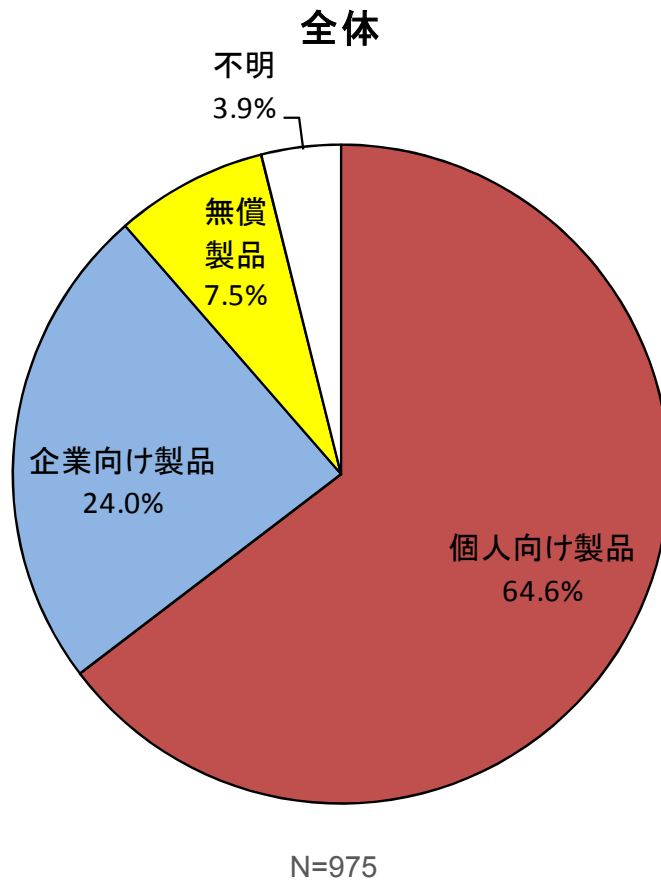


- 「全てのPCにウィルス対策ソフトがインストールされている」との回答が全体の4分の3を超え、少なくとも認知レベルでは導入が進んでいる様子がうかがえる。
- 企業規模別の差もそれほど見られない。
- 業種別では、「製造業」におけるソフトの未導入率の高さがやや目立つ。

[比率の差]				[1~3位]		
全体 +10%	全体 + 5%	全体 - 5%	全体 -10%	① 1位	② 2位	③ 3位

		全体	全てのPCにウィルス対策ソフトがインストールされている	一部のPCが未導入 (全PC数の1割未満程度)	一部が未導入 (全PC数の3割未満程度)	約半数が未導入 (全PC数の5割程度)	多くのPCが未導入 (全PC数の7割前後程度)	ほとんどが未導入 (全PC数の9割程度)	いずれのPCにも未導入	その他
全体		1000	①76.3	②10.8	③3.6	③3.6	1.9	1.3	2.3	0.2
N01: 従業員規模	5~9人	500	①74.2	②9.6	③4.6	4.4	2.6	1.6	2.8	0.2
	10~19人	250	①78.8	②10.4	2.4	③3.2	1.6	1.2	2.4	0.0
	20~29人	120	①80.8	②10.0	③3.3	2.5	0.8	0.8	1.7	0.0
	30~49人	80	①75.0	②16.3	③3.8	1.3	0.0	1.3	1.3	1.3
	50~99人	50	①76.0	②18.0	0.0	③4.0	2.0	0.0	0.0	0.0
	100人以上	100	①76.3	②13.0	7.1	③7.6	3.8	1.6	2.7	0.0
G1: 業種 (大)	製造業	184	①64.1	②13.0	7.1	③7.6	3.8	1.6	2.7	0.0
	流通・小売・商社	135	①76.3	②10.4	3.7	③5.2	0.0	0.7	3.7	0.0
	金融・保険業	26	①73.1	②19.2	③7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サービス業	338	①75.4	②12.1	③2.7	2.1	③2.7	2.4	2.1	0.6
	情報サービス業	101	①85.1	②8.9	③2.0	③2.0	0.0	0.0	③2.0	0.0
	建設業	146	①82.9	②8.2	2.1	③3.4	1.4	0.0	2.1	0.0
	官公庁・公共団体	19	①89.5	②10.5	③0.0	③0.0	③0.0	③0.0	③0.0	③0.0
その他		51	①86.3	③2.0	②3.9	③2.0	③2.0	③2.0	③2.0	0.0

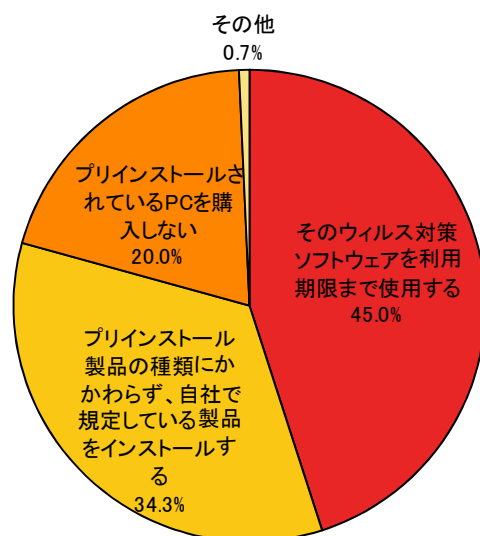
現在の導入製品



- 予想通り、個人向け製品の導入比率が高く、全体の64.6%を占める結果となった。
- 企業向け製品は、全体の4分の1を割り込み、24.0%であった。
- 無償製品が7.5%を占めている。

プリインストール・ソフトの扱い

Q16:ご勤務先でPCを購入された際には、プリインストールされているウィルス対策ソフトウェアをどのように扱っていますか。以下の選択肢より当てはまるものを一つお選び下さい。



・昨今では、PC購入時にウィルス対策ソフトが試用期間込みでプリインストールされるケースが多いが、100人以下の企業においては、そうしたプリインストール・ソフトを「利用期限まで使う」とした回答が意外に多いという結果になった。

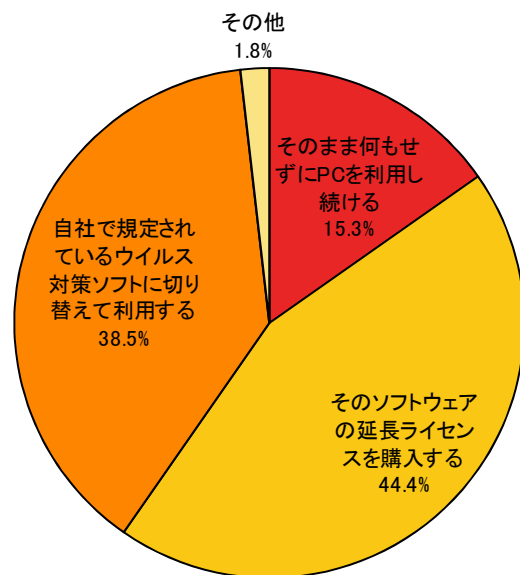
[比率の差]			
全体 +10%	全体 + 5%	全体 - 5%	全体 -10%

[1~3位]		
①	1位	
②	2位	
③	3位	

		全体	そのウィルス対策ソフトウェアを利用期限まで使用する	プリインストール製品の種類にかかわらず、自社で規定している製品をインストールする	プリインストールされているPCを購入しない	その他
全体		975	①45.0	②34.3	③20.0	0.7
NQ1: 従業員規模	5~9人	485	①46.6	②33.8	③18.4	1.2
	10~19人	244	①42.6	②35.7	③21.7	0.0
	20~29人	118	①47.5	②33.1	③18.6	0.8
	30~49人	78	①39.7	②33.3	③26.9	0.0
	50~99人	50	①44.0	②36.0	③20.0	0.0
	100人以上	50	①44.0	②36.0	③20.0	0.0
G1: 業種(大)	製造業	179	①48.0	②31.8	③19.0	1.1
	流通・小売・商社	130	①42.3	②36.9	③20.8	0.0
	金融・保険業	26	①53.8	②34.6	③11.5	0.0
	サービス業	329	①46.2	②34.7	③18.8	0.3
	情報サービス業	99	②29.3	①42.4	③26.3	2.0
	建設業	143	①54.5	②25.9	③18.2	1.4
	官公庁・公共団体	19	②26.3	①47.4	②26.3	0.0
	その他	50	①40.0	②36.0	③24.0	0.0

プリインストール・ソフトの扱い

Q17:プリインストールされているソフトウェア製品の利用期限が切れた場合には、どうされていますか。以下の選択肢より最も多いケースとして当てはまるものを一つお選び下さい。



- 「プリインストール・ソフトを利用する」と回答した439人に対して、当該ソフトの利用期限が終了した場合の対応について尋ねた。
- その結果、「そのソフトウェアの延長ライセンスを購入する」が最多となり、「自社で規定されているソフトに切り替えて利用する」を上回った。
- この結果からも、中小企業におけるプリインストール・ソフトの影響力の大きさがうかがえる。

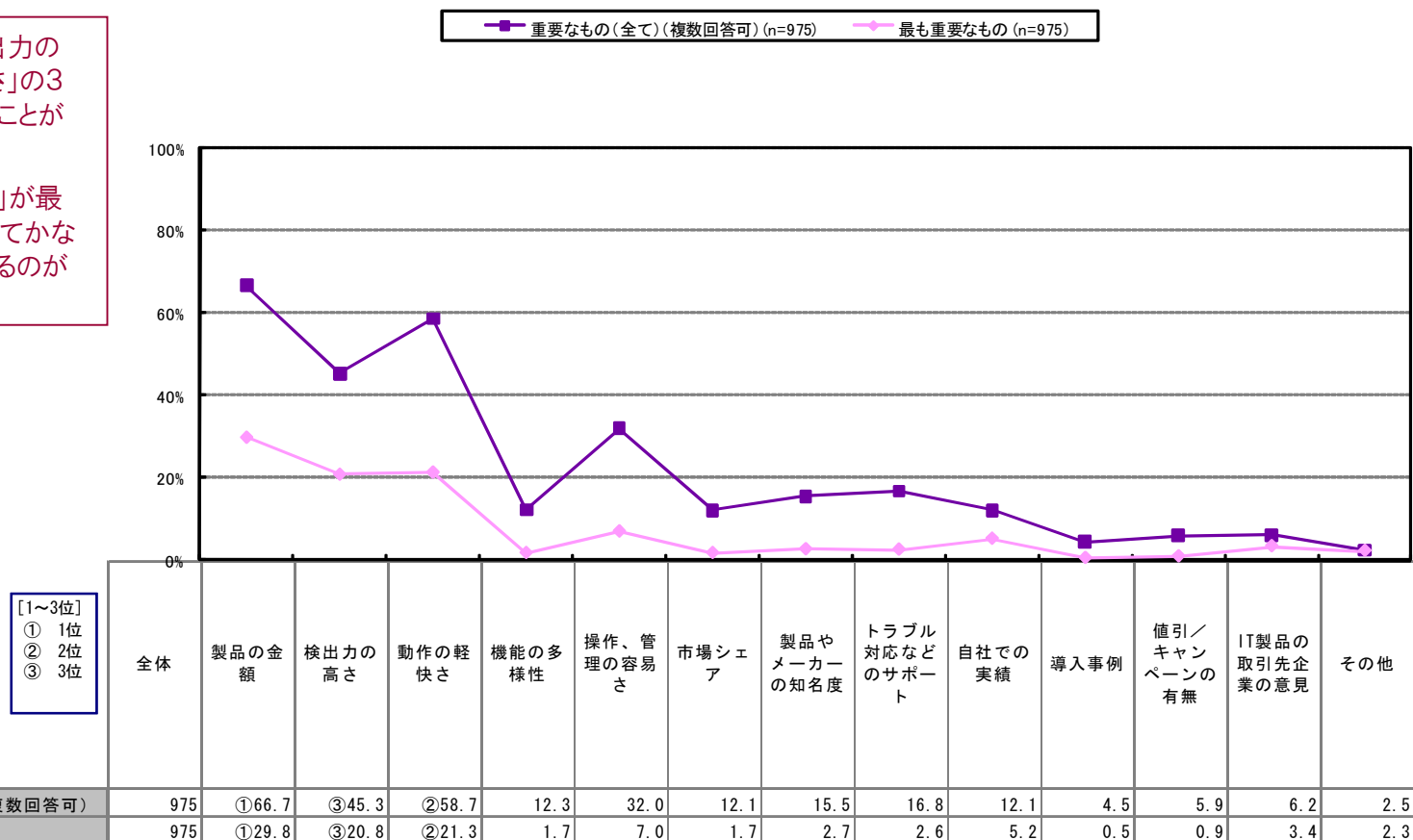
[比率の差]		[1~3位]	
全体 +10%	① 1位	① 1位	① 1位
全体 + 5%	② 2位	② 2位	② 2位
全体 - 5%	③ 3位	③ 3位	③ 3位
全体 -10%			

		全体	そのまま何もせずにPCを利用し続ける	そのソフトウェアの延長ライセンスを購入する	自社で規定されているウイルス対策ソフトに切り替えて利用する	その他
全体		439	③15.3	①44.4	②38.5	1.8
NQ1: 従業員規模	5~9人	226	③16.4	①43.4	②38.1	2.2
	10~19人	104	③17.3	②37.5	①43.3	1.9
	20~29人	56	③10.7	①50.0	②37.5	1.8
	30~49人	31	③6.5	①64.5	②29.0	0.0
	50~99人	22	③18.2	①45.5	②36.4	0.0
	100人以上	10	③0.0	①100.0	②0.0	0.0
G1: 業種(大)	製造業	86	③16.3	②27.9	①50.0	5.8
	流通・小売・商社	55	③12.7	①45.5	②38.2	3.6
	金融・保険業	14	③14.3	①57.1	②28.6	0.0
	サービス業	152	③17.1	①52.6	②30.3	0.0
	情報サービス業	29	③10.3	①51.7	②37.9	0.0
	建設業	78	③15.4	②35.9	①47.4	1.3
	官公庁・公共団体	5	③0.0	②40.0	①60.0	③0.0
	その他	20	③15.0	①65.0	②20.0	0.0

製品購入時の重視ポイント

Q10:ご勤務先でウィルス対策ソフトウェア製品を購入される際に重要視している点がありますか。以下の選択肢より当てはまるものをお選び下さい。

- 「製品の金額」「検出力の高さ」「動作の軽快さ」の3つが重視されていることが分かる
- 特に「動作の軽快さ」が最重要視する項目としてかなりの回答を集めているのが特徴的である。



Q10M001	重要なもの(全て)(複数回答可)	975	①66.7	③45.3	②58.7	12.3	32.0	12.1	15.5	16.8	12.1	4.5	5.9	6.2	2.5
Q10M002	最も重要なもの	975	①29.8	③20.8	②21.3	1.7	7.0	1.7	2.7	2.6	5.2	0.5	0.9	3.4	2.3

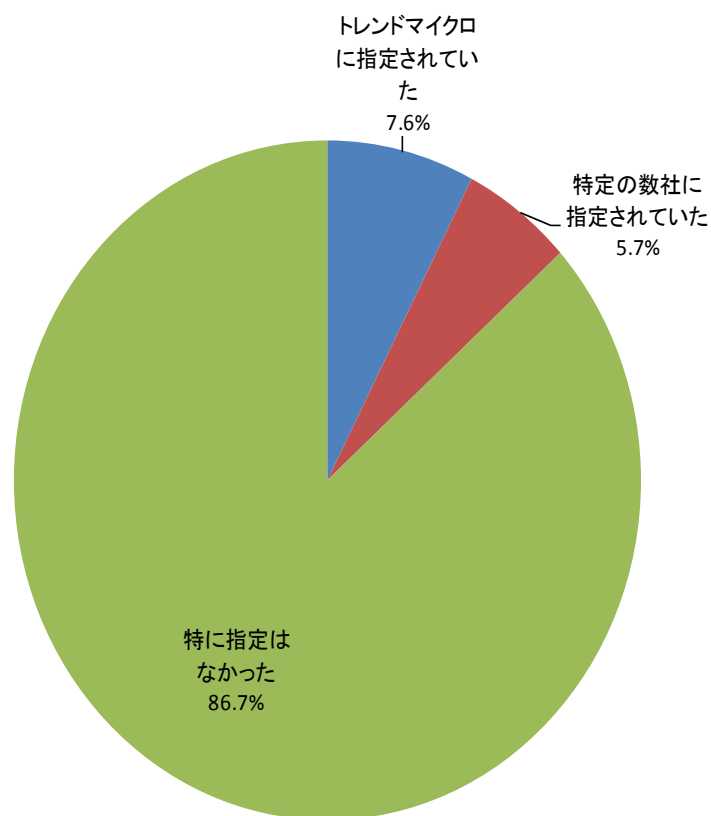
安心を、ひとつ上のステージへ。



導入するウイルス対策ソフトの指定

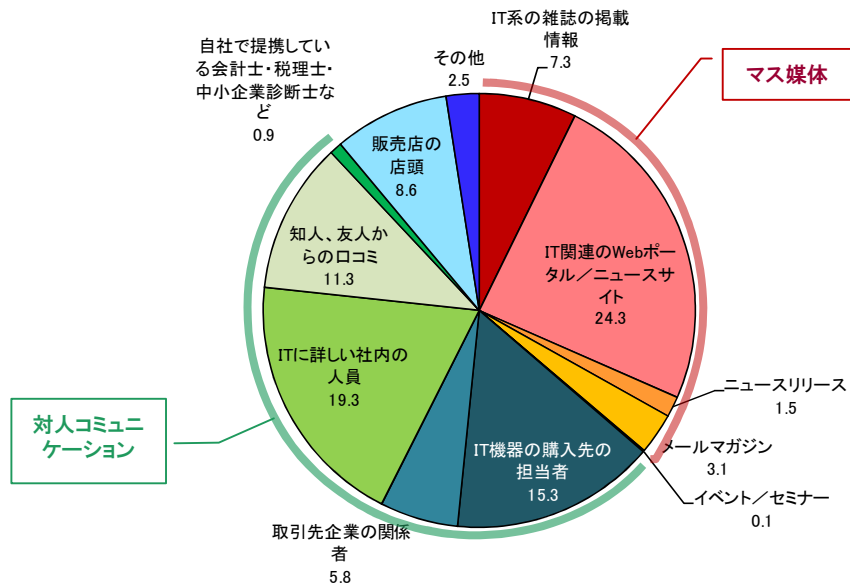
- ウイルス対策ソフトについてはほぼ会社から指定はないといえる。注文業務担当者は職務上、会社の指定のもとに購入するケースが多い傾向にある。

Q12.あなたがウイルス対策ソフトを導入するかどうかを検討するにあたって、勤務先からあらかじめ導入するウイルス対策ソフトの指定はございましたか。



		(全体)	トレンド マイクロに 指定されて いた	特定の 数社に指定 されていた	特に指定は なかった
全体		210	7.6%	5.7%	86.7%
Biz 購入時の 立場	決裁者	63	6.3%	7.9%	85.7%
	導入検討者	126	3.2%	4.8%	92.1%
	注文業務担当者	21	38.1%	4.8%	57.1%
Biz 購入台数	10台以下	147	8.2%	6.1%	85.7%
	11台以上	62	6.5%	3.2%	90.3%

製品購入の決め手



- この設問では、「最も影響を与えるもの」についてクロス集計を実施した。
- 回答を分類すると、「対人コミュニケーション」をベースとした情報が全体の5割を超えており、マス媒体以上に意思決定に大きな影響を及ぼしていることがうかがえる。

		全体	IT系の雑誌の掲載情報	IT関連のWebポータル/ニュースサイト	ニュースリリース	メールマガジン	イベント/セミナー	IT機器の購入先の担当者	取引先企業との関係者	ITに詳しい社内の人	知人、友人からの口コミ	自社で提携している会計士・税理士・中小企業診断士など	販売店の店頭	その他
全体		975	7.3	①24.3	1.5	3.1	0.1	③15.3	5.8	②19.3	11.3	0.9	8.6	2.5
N01: 従業員規模	5～9人	485	8.2	①24.1	2.1	2.9	0.0	10.5	6.0	②17.3	③14.0	0.8	10.9	3.1
	10～19人	244	7.0	①29.1	0.8	3.3	0.0	③16.0	4.5	②20.1	10.7	0.8	5.7	2.0
	20～29人	118	5.1	②21.2	1.7	3.4	0.8	③16.9	5.9	①24.6	7.6	1.7	7.6	3.4
	30～49人	78	6.4	②21.8	1.3	3.8	0.0	①29.5	7.7	③15.4	2.6	1.3	10.3	0.0
	50～99人	50	6.0	③14.0	0.0	2.0	0.0	①32.0	8.0	②28.0	10.0	0.0	0.0	0.0
G1: 業種(大)	製造業	179	6.7	①30.7	1.7	3.4	0.0	③11.7	2.8	②20.1	11.2	0.6	8.9	2.2
	流通・小売・商社	130	7.7	①24.6	2.3	1.5	0.0	③15.4	6.2	②20.0	9.2	0.8	10.8	1.5
	金融・保険業	26	7.7	①19.2	0.0	0.0	0.0	③15.4	①19.2	③3.8	11.5	3.8	7.7	11.5
	サービス業	329	7.9	②17.3	0.6	3.0	0.3	③17.0	6.7	①19.8	13.7	0.6	10.3	2.7
	情報サービス業	99	③9.1	①47.5	3.0	3.0	0.0	8.1	2.0	②19.2	4.0	0.0	2.0	2.0
	建設業	143	4.9	①18.9	2.8	4.9	0.0	①18.9	7.7	③18.2	11.9	2.1	9.1	0.7
	官公庁・公共団体	19	0.0	①26.3	0.0	0.0	0.0	①26.3	0.0	③21.1	③21.1	0.0	5.3	0.0
その他		50	10.0	②18.0	0.0	4.0	0.0	③16.0	8.0	①22.0	10.0	2.0	4.0	6.0

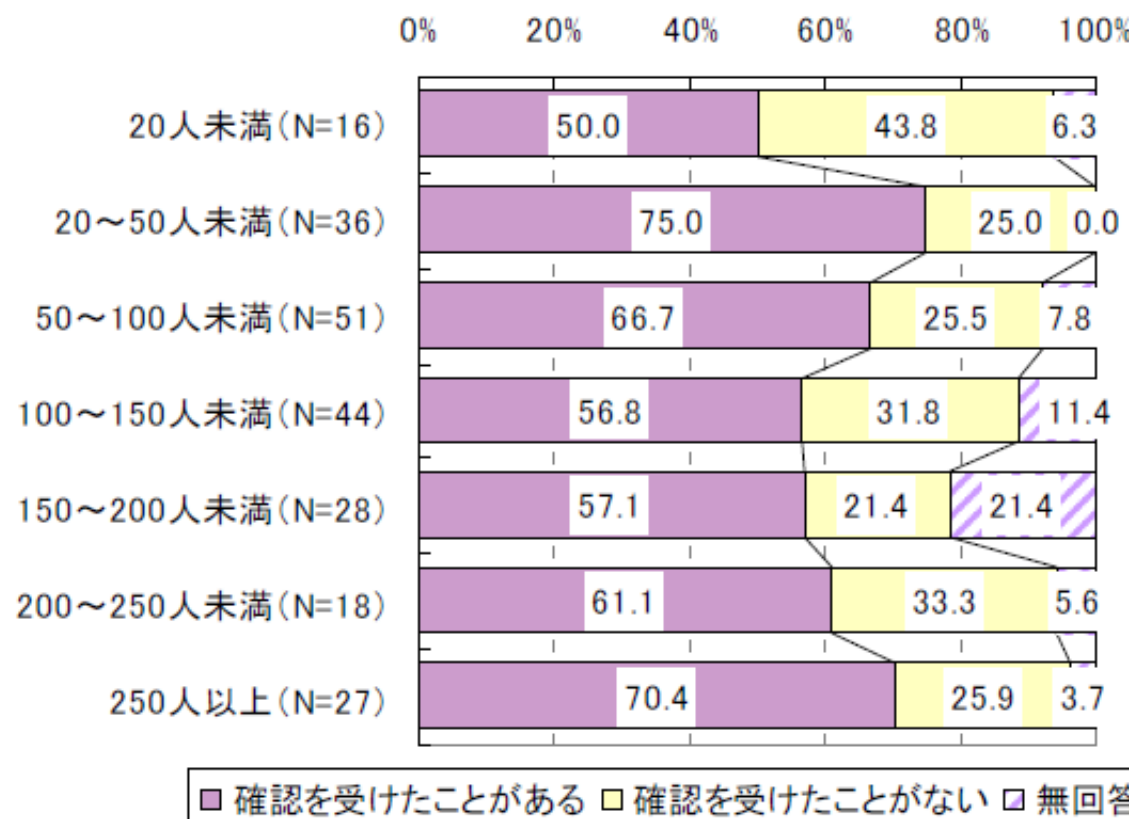


図 3.2-8 取引先（業務委託元）からの情報セキュリティ対策状況の確認有無（従業員規模別）

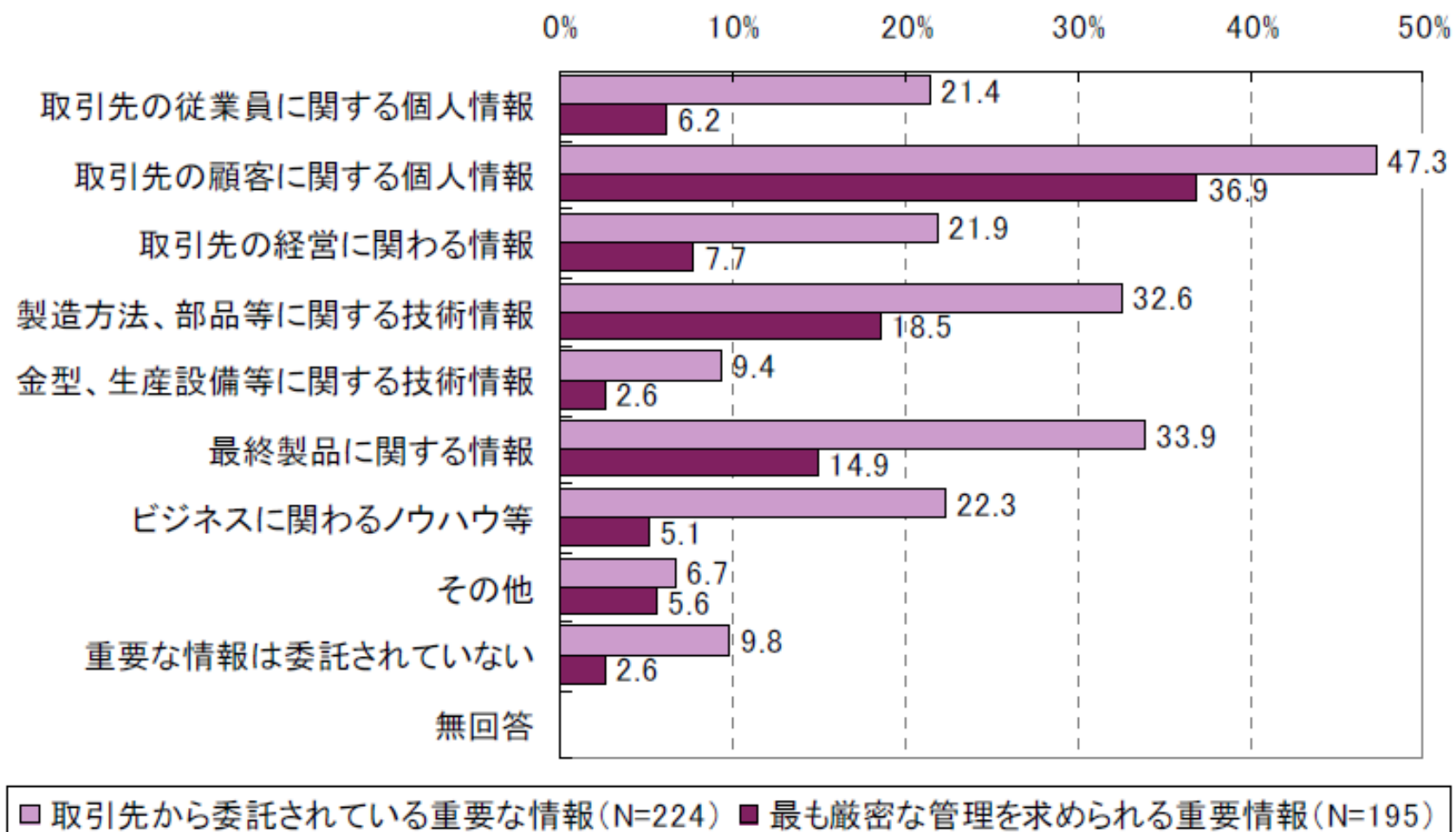


図 3.2-5 取引先（業務委託元）からの委託されている重要な情報
＜取引先を有する企業のみ＞

セキュリティ製品ビジネスのメリット

- 中小企業におけるセキュリティ対策状況のまとめ
 - 専任のIT担当者がいるのは全体の18.8%のみ
 - 64.6%のユーザは個人向け製品を利用
 - 購入前に企業で導入製品を決めていない割合は
 - 対人コミュニケーションにより購入決定する割合が多い
- 中小企業向けセキュリティビジネスの可能性
 - リサーチより、まだビジネスチャンスあり
 - 製品分野・ターゲット（中小企業）の観点から手離れのよいビジネスである
- セキュリティ製品はストックビジネスとなります。
 - 年間更新ライセンス
 - 高い更新率
- 実際の業務は弊社パートナーのサービスを利用できます。
 - 更新管理
 - 在庫の必要性無し
 - 販売サイトの提供も可能

トレンドマイクロの中小企業向け製品のご紹介

中小企業ユーザの悩み



何にどこまで、
いくらかけてやればよいか
分からない。



ウイルス



スパム



情報漏えい



Web脅威



URL
フィルタリング



フィッシング
詐欺



スパイウェア



専任の担当者がいないし、
セキュリティ管理が面倒。
ユーザ任せの個人向け製品で
大丈夫なのだろうか？



いろいろな製品があって、
どれを選んでいいか分からない。
どんな違いがあるの？



TREND MICRO ビジネスセキュリティ 6.0

インターネットに潜む多種多様な脅威にこれひとつで対策が可能



※クライアントだけでなくサーバでも利用可能



日々変化する最新の脅威に常に対応

Webサイトの評価情報を収めた「Webレピュテーション」技術を用いた不正サイト接続ブロックに加え、ファイルの評価情報を収めた「ファイルレピュテーション」技術を用いたスマートスキャン機能により、実際の不正ファイルがお客様に届く前に最新の脅威から守ります。

セキュリティ対策による業務への
負荷を軽減

企業内の多くのPCセキュリティ状況を管理する機能により、セキュリティの導入・運用・対策時の業務への負荷を軽減します。
さらに、スキャンによるアプリケーション利用への影響を少なくします。



TREND MICRO ビジネスセキュリティ 6.0 (主な機能)

ビジネスに安心を、この1本で



NEW 6.0で追加

- NEW** スマートスキャン
- NEW** URLフィルタリング
- NEW** USB 自動実行の防止
- NEW** スマートフィードバック
- NEW** 設定のエクスポート/インポート
- NEW** スキャンパフォーマンスコントロール
- POWER UP** 管理画面がより分かりやすく

- ・ **迷惑メール対策機能**で迷惑メールを専用フォルダに格納
- ・ **Web評価機能**でWebからの脅威の侵入や情報の流出を防止
- ・ 挙動監視機能で不正な変更やプログラムの挙動を監視/処理
- ・ 検索サイトでの検索結果、閲覧しているWebページの評価結果を表示
- ・ インスタントメッセージコンテンツフィルタでチャットの単語をフィルタリング
- ・ プラグインマネージャにより様々なプラグイン製品を提供予定
- ・ 大規模感染予防から復旧までサポート
- ・ 企業内のすべてのWindows PCにセキュリティポリシーを徹底
- ・ ファイルベース型ウイルスはもちろん、ネットワークウイルスも監視/処理
- ・ クライアント用ファイアウォールおよび不正侵入検知
- ・ サーバOSもクライアントOSもウイルス対策可能
- ・ セキュリティリスクのあるPCの診断（脆弱性診断）
- ・ ボット型ウイルス対策機能（IntelliTrap）
- ・ 感染クライアントの早期復旧ソリューション（Generic Clean）
- ・ 効率的なパターンアップが可能なアップデートエージェント機能



安心を、ひとつ上のステージへ。

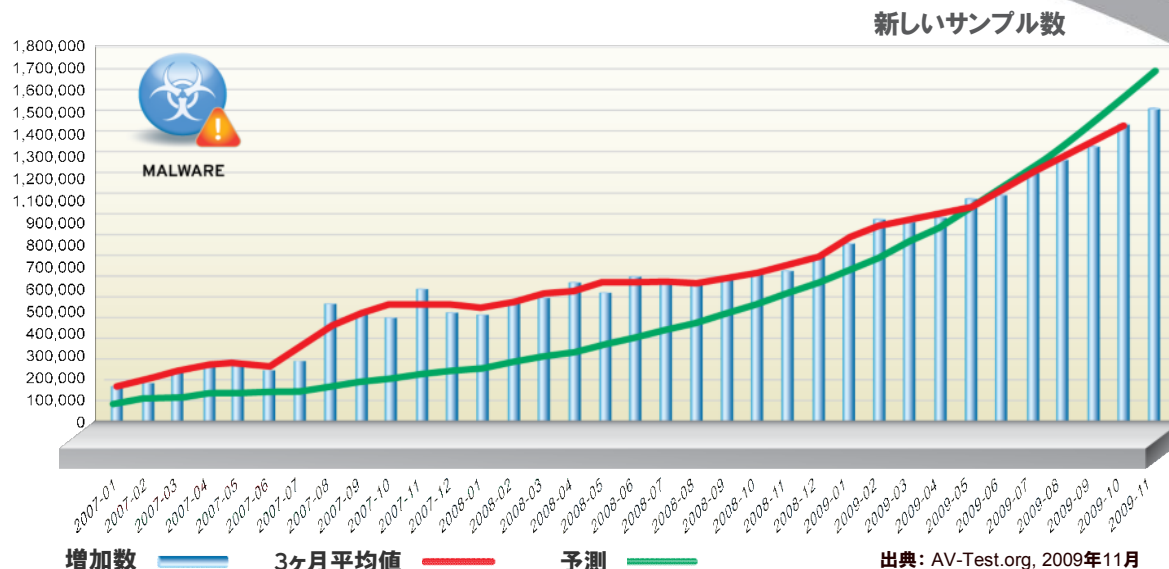


脅威は常に進化、増加している

• **1.5秒に1つ**^{*1}
の新しい脅威が登場

• **約92%**^{*2}
の感染がWeb経由

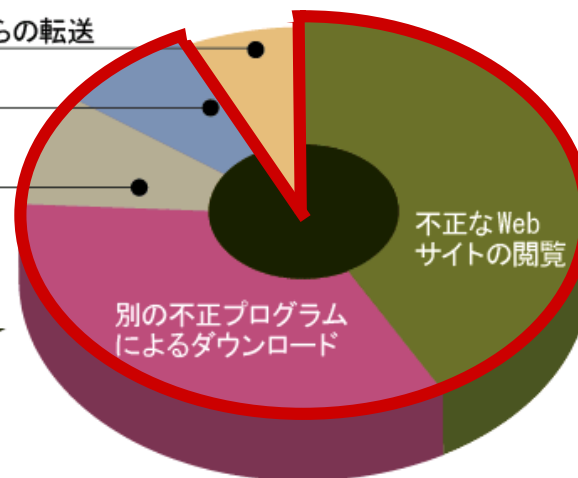
Webを経由して感染
全体の約**92%**^{*2}



リムーバブルディスクからの転送

その他(インターネット経由)

E-mailの添付
ファイルやリンク



*1 2009年AV-Test提供データを基にトレンドマイクロ算出

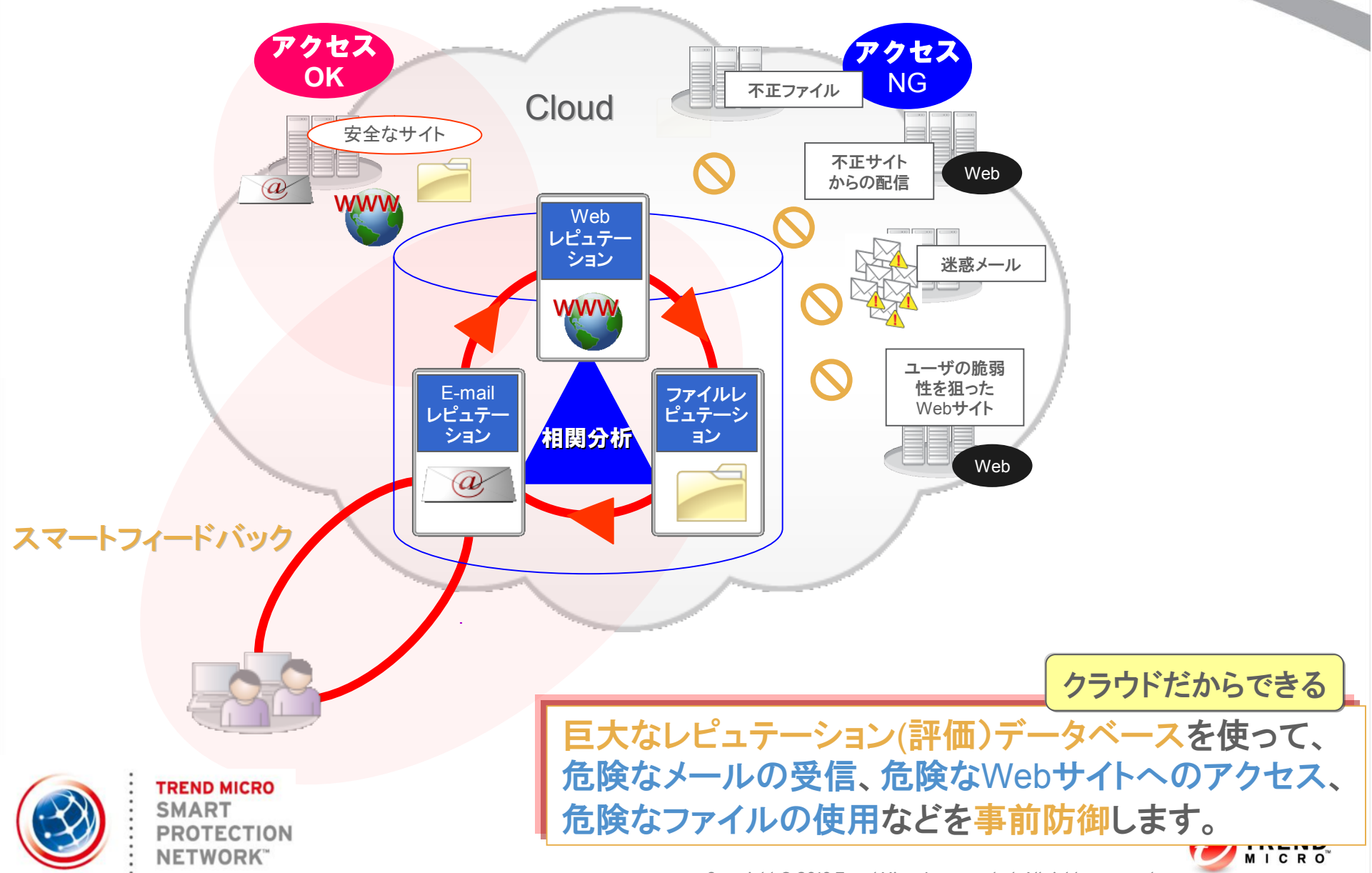
*2 2009年トレンドマイクロ調べ

安心を、ひとつ上のステージへ。



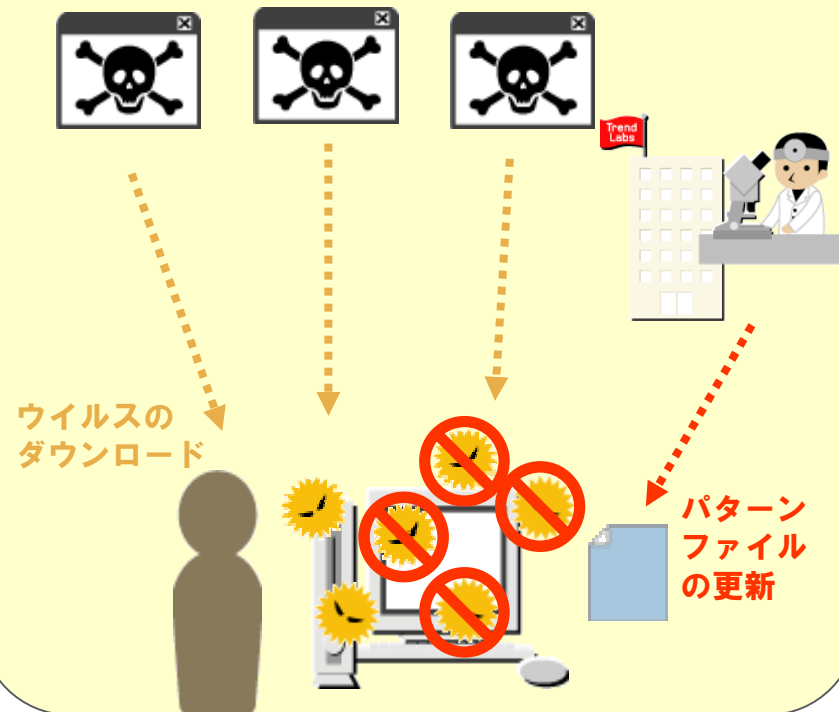
Trend Micro Smart Protection Network™

インターネット⇄クライアントで協調動作する次世代セキュリティ基盤

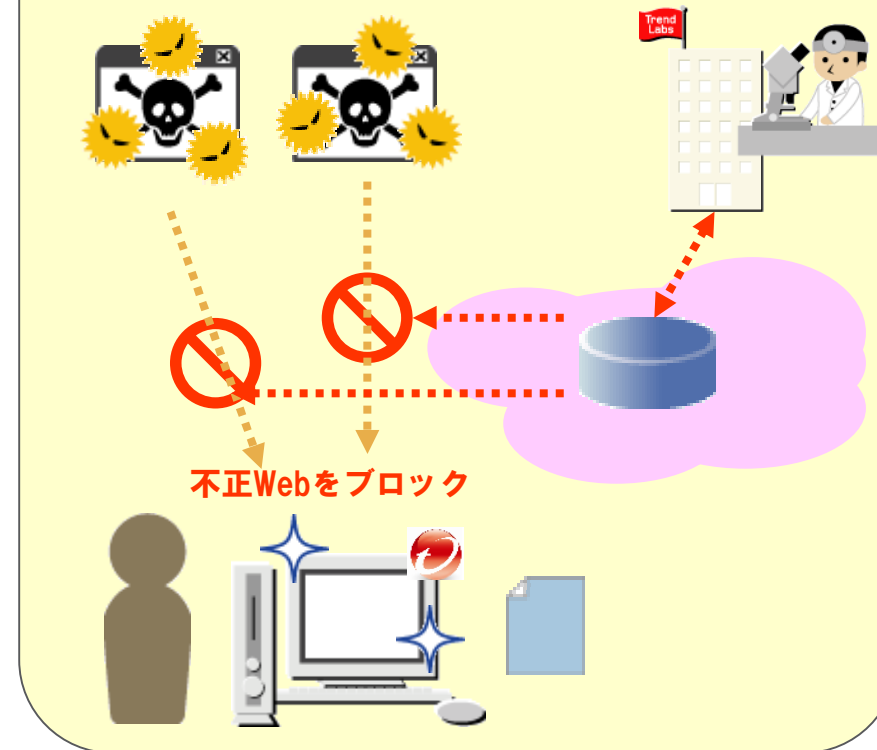


Webレピュテーション技術

Webから大量の亜種が
ダウンロードされるため
パターンファイルで検出しきれない



不正Webサイトへの
アクセスそのものをブロック



スマートスキャンの概要（ファイルレピュテーション技術）

従来型Scan



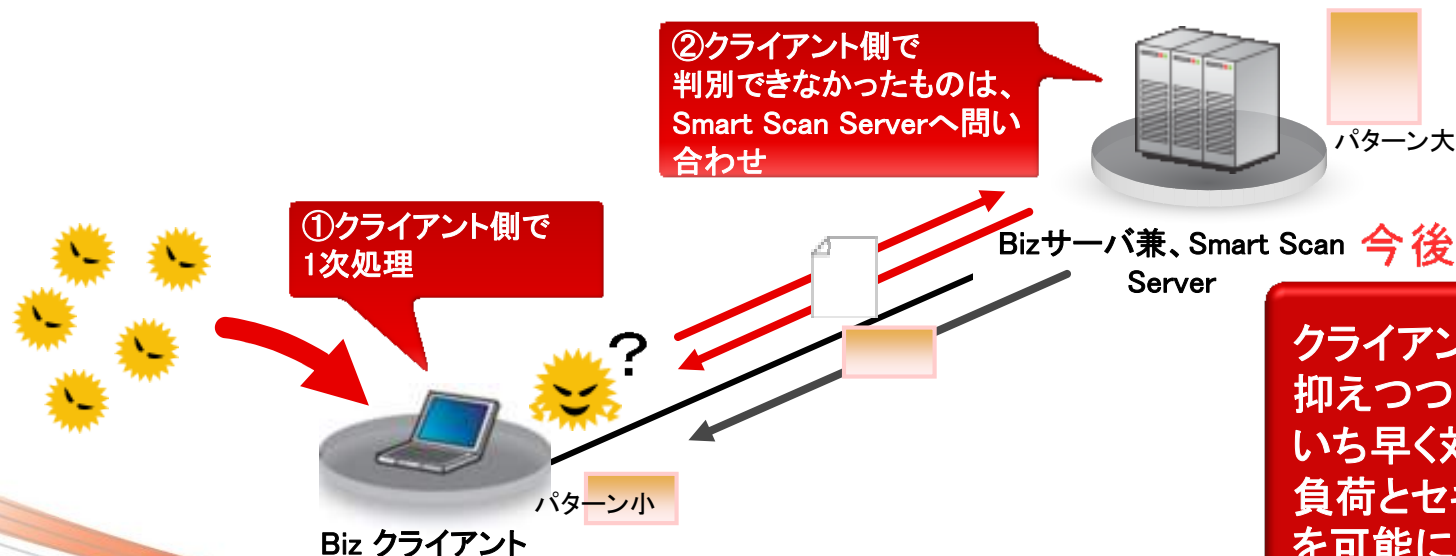
現在の問題点

パターンサイズが大きい

最新のパターン適用まで時間がかかる

クライアントの負荷が大きい

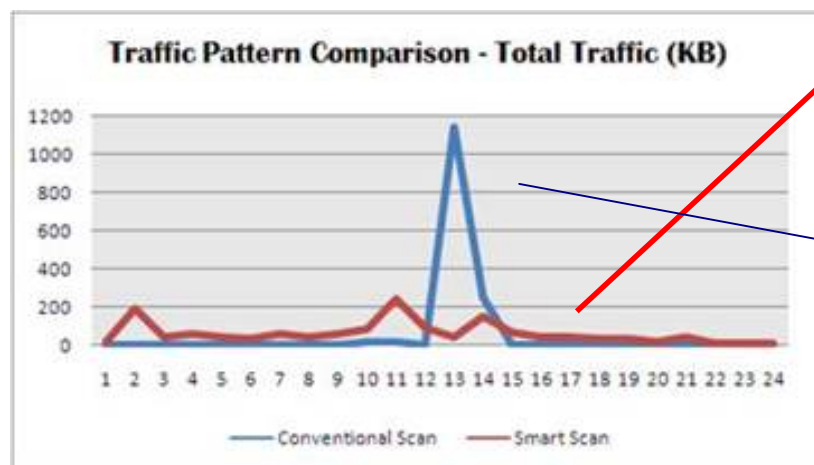
スマートスキャン



クライアントへの負荷を抑えつつ、最新の脅威へいち早く対応
負荷とセキュリティの両立を可能に!!

スマートスキャンのメリット

1. パターンサイズを約50%弱軽減
2. 企業内ネットワークの負荷平準化

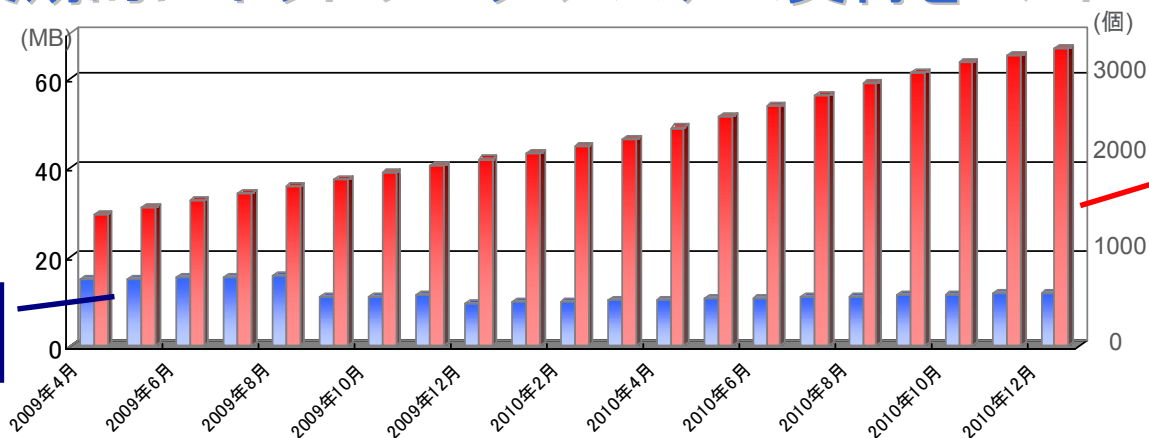


従来の
パターンファイル形式に
比べ、ネットワーク負荷を平準化

従来の
パターンファイル形式

データ:トレンドマイクロ調べ
注:実際のネットワークトラフィック量は、環境によって変わります。

3. 長期的にネットワークシステム負荷をコントロール



スマートスキャンによる
メモリ負荷予測

1時間に発生する
不正プログラム数

セキュリティ対策の業務への負荷を軽減

セキュリティ対策による業務への負荷を軽減

● 設定の一括実行・管理、
遠隔設定・導入

● 全社内PC／サーバの
セキュリティ状況把握

● 全体把握により、感染時の
迅速な対応が可能

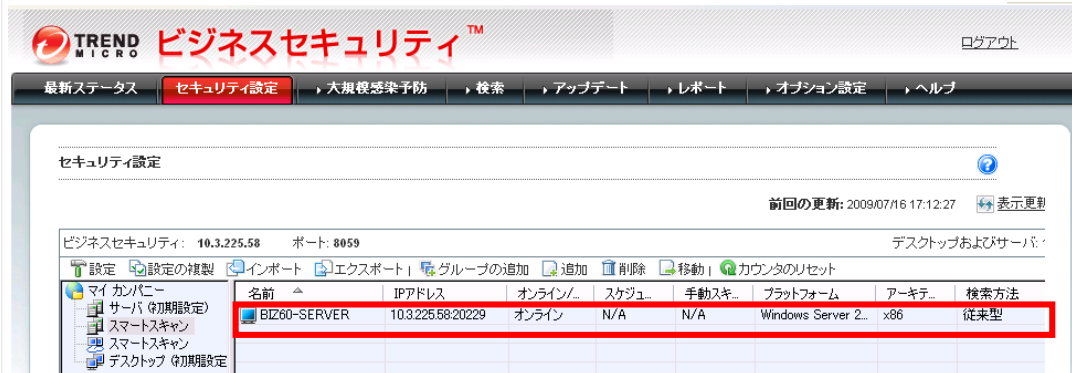
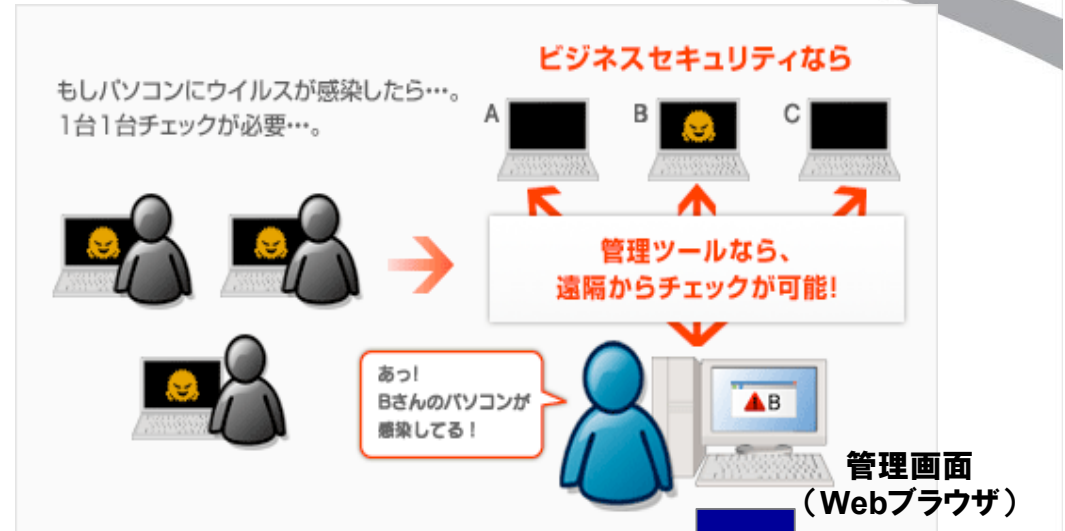
● ライセンス(シリアル)の
更新管理も1つで楽々

● バージョンアップや導入も
遠隔操作で実施可能

● PC負荷が少ない時に
スキャンを実行



統合管理によるセキュリティ対策業務の軽減



- 社内PC・サーバのデバイス情報を表示
(IPアドレス、コンピュータ名、CPU、パターンファイルバージョン、OS情報等)
- 感染状況も端末ごとに件数表示



- 社内全体の緊急状況を直感的に把握
(ウイルス感染やライセンス期限切れ、脆弱性の有無など)

「総合防御力」と「従来検知率」テストの違い

項目/手法	総合防御力	従来の検知率
概要	製品の <u>総合的な防御力の優位性</u> を評価	コンピュータにある <u>ファイル検索技術の優位性のみ</u> を評価
PCテスト環境	インターネットに接続(オンライン)	クローズド(オフライン)
ウイルスサンプル	<u>ウェブから来る最新の脅威サンプル</u> を使用	大量の <u>既知ウイルス</u> のサンプルを使用
テスト期間	長期間、 <u>時間軸での変化</u> を見ている	テストの実行は基本的に <u>一回限り</u>
評価ポイント	<u>総合的に</u> いかにして脅威から防御するか	手動によるウイルス検索など、製品の一機能のみ評価
第三者研究機関		AV-Test、Virus Bulletin、各雑誌・メディアのテスト結果、セキュリティベンダー出資のテスト結果など

現実的なお客様のパソコン環境＝総合防御力テスト



TREND MICRO
SMART
PROTECTION
NETWORK

トレンドマイクロが提供する
次世代セキュリティソリューション

連続“防御力 NO.1”

第三者テスト機関がトレンドマイクロを高く評価



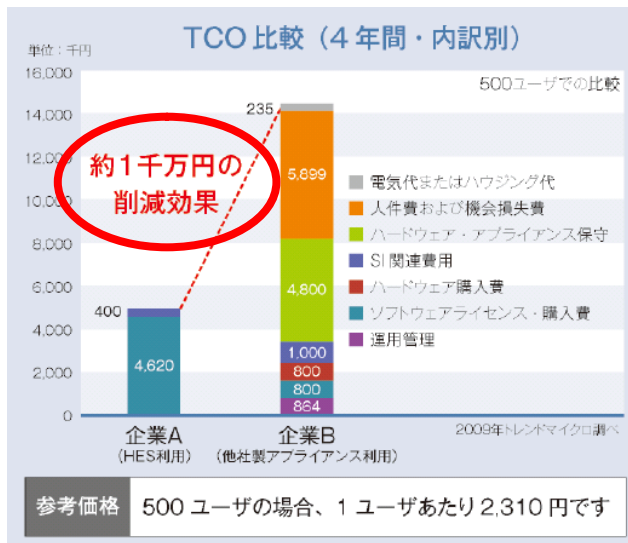
AVTEST

NSS Labs
Security Certified

AV-Test	総合点	NSS Labs	総合
トレンドマイクロ ビジネスセキュリティ	89.5%	トレンドマイクロ	95.2%
トレンドマイクロ ウイルスバスター コーポレートエディション	89.0%	マカフィー	93.6%
シマンテック Endpoint Protection	77.5%	ソフォス	89.2%
ソフォス Endpoint Security and Control	76.5%	ノーマン	88.3%
マカフィー VirusScan for Enterprise	74.0%	カスペルスキー	85.4%
マイクロソフト Forefront Client Security	52.5%	ESET	84.5%
		シマンテック	84.1%
		エフセキュア	83.5%
		AVG	76.4%
		バンダ	67.4%

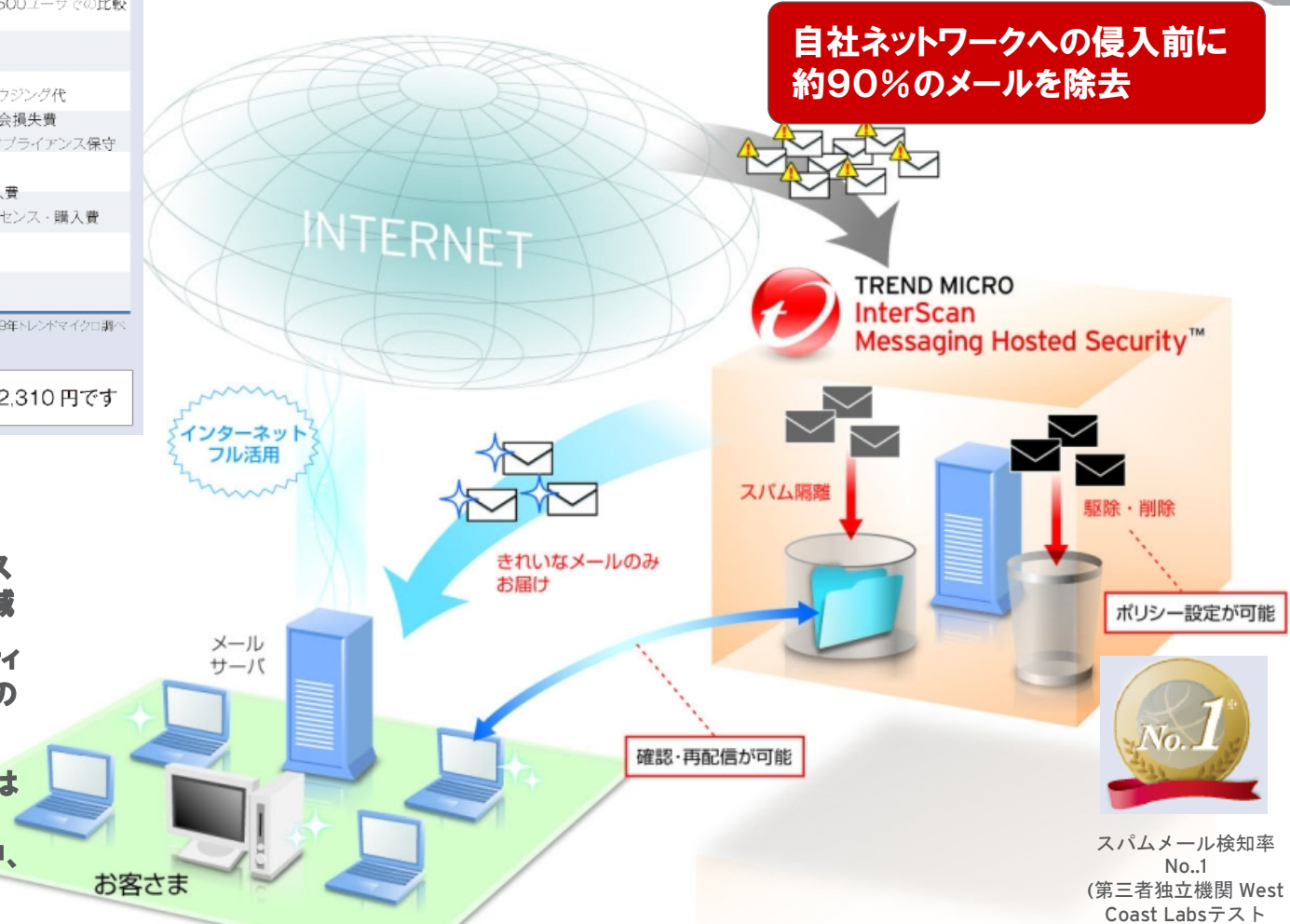
Trend Micro Hosted Email Security™

～SaaS型メールセキュリティソリューション～



ここがポイント！

- ① ネットワーク帯域の有効利用、メールサーバ負荷・メールボックス等のストレージ利用も大幅に軽減
- ② IT予算が削られる中、セキュリティ対策は増すばかり、コスト・手間の削減に大変効果的
- ③ 最新のセキュリティ対策のメンテは24時間365日プロに任せて、お客様はコアコンピテンシーに集中、生産性を向上させます



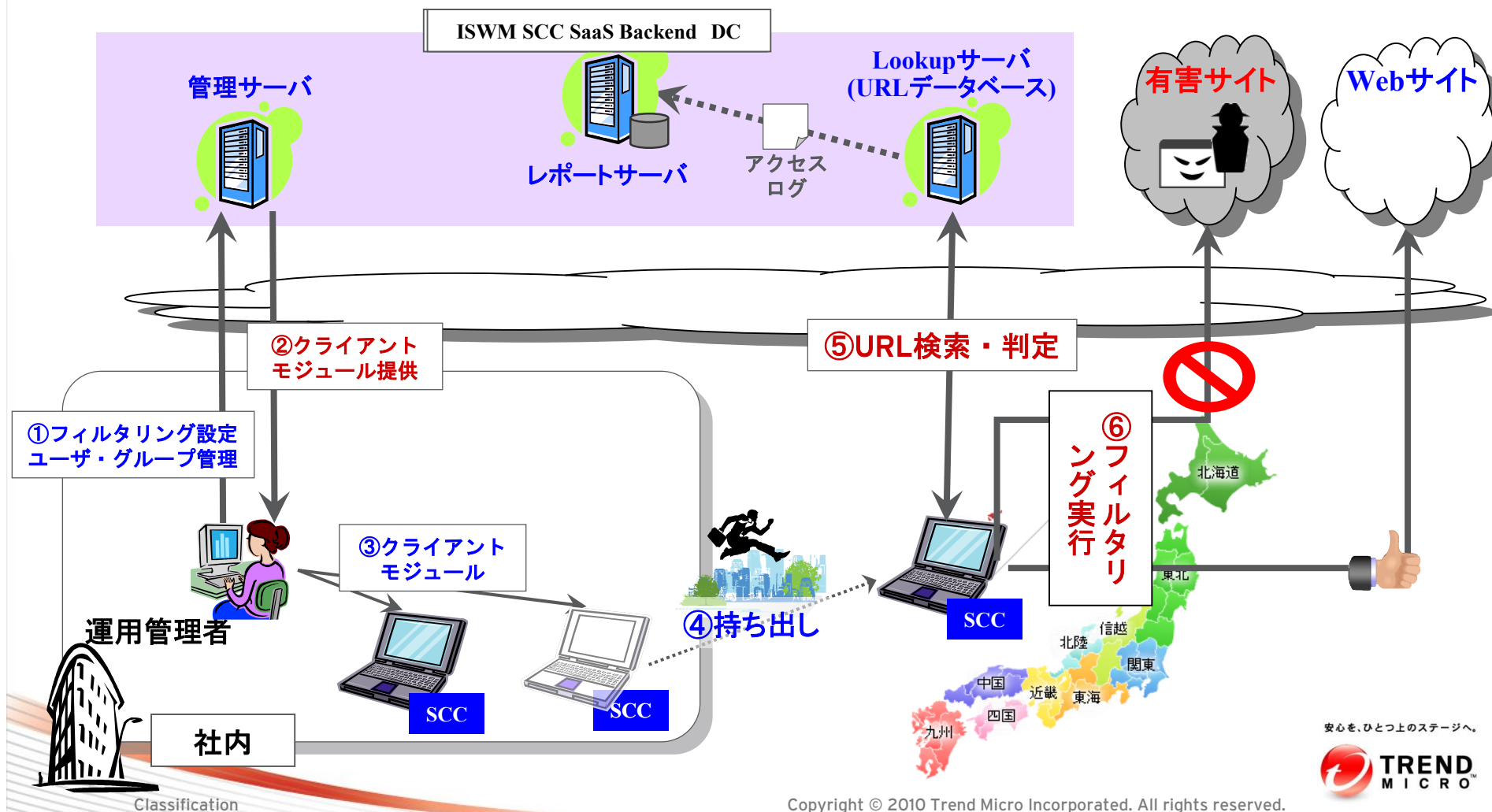
スパムメール検知率
No.1
(第三者独立機関 West Coast Labsテスト
2009年1月)

お客様はハード、ソフトの導入・運用は必要ありません！

※ DNSサーバのMXレコードの設定変更だけ行って頂きます。

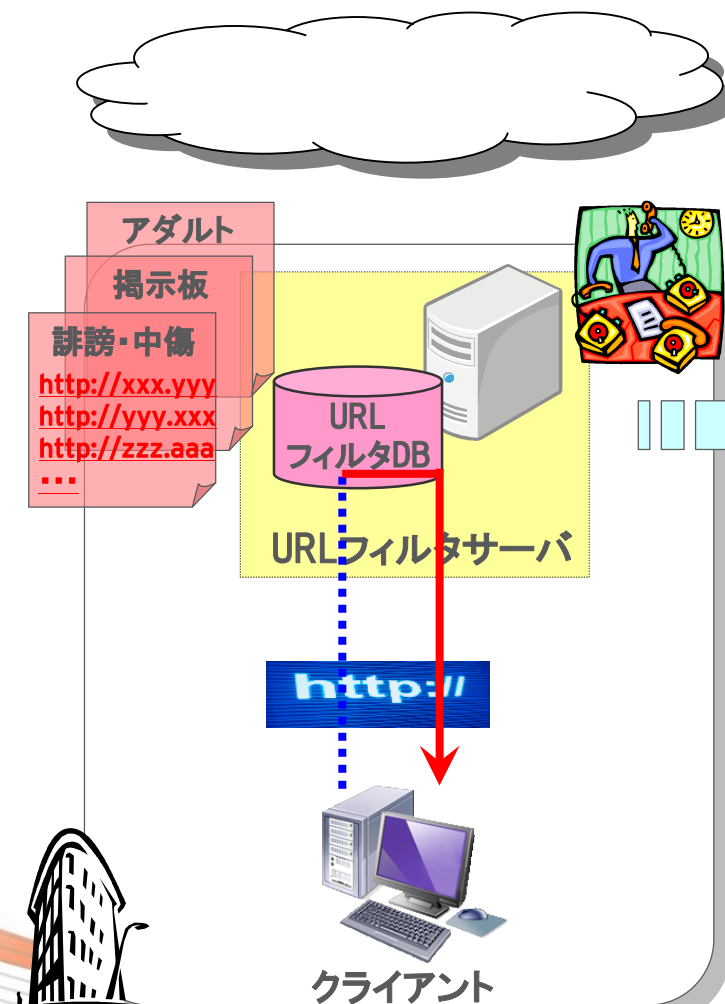
ISWM SCC サービス: ご提供イメージ概要

- Note-PCのモジュールがLookupサーバに問合せるSaaS型サービス
- 運用管理者はクラウド上の管理サーバで一元管理

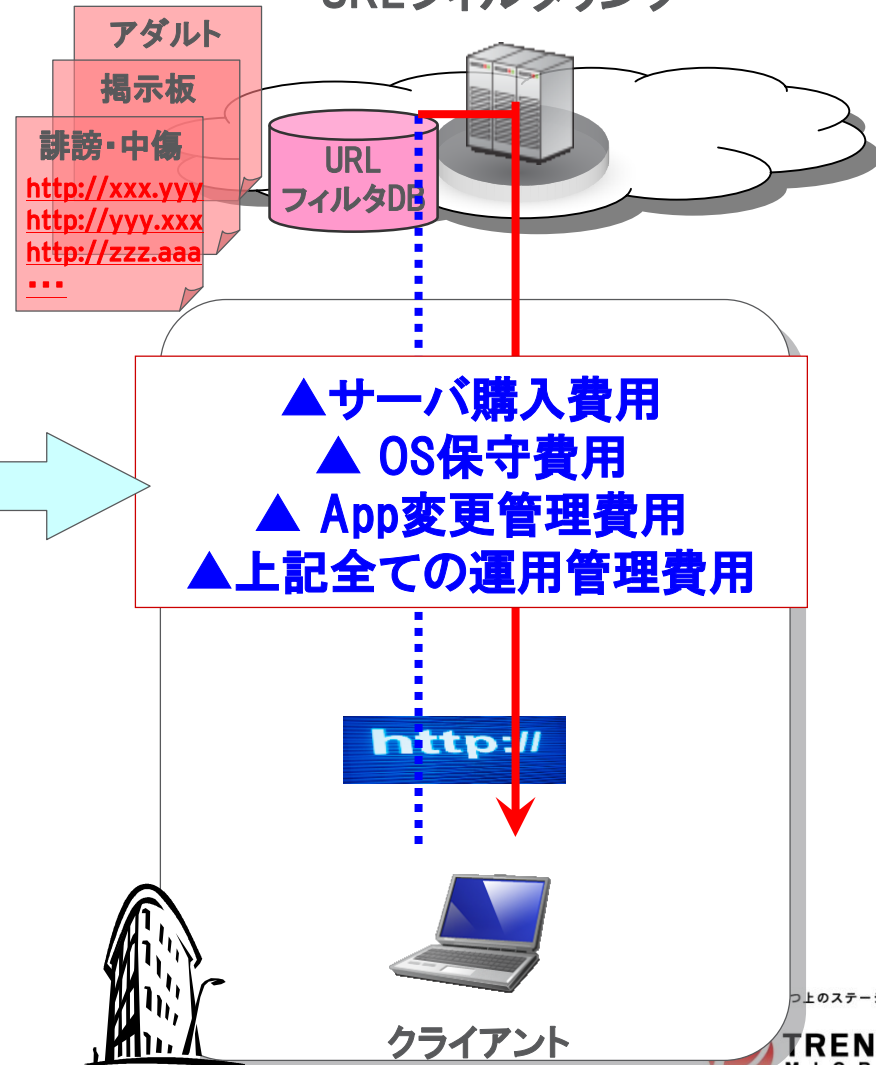


TCO比較：SaaS型の運用管理におけるメリット

ゲートウェイ型 URLフィルタリング



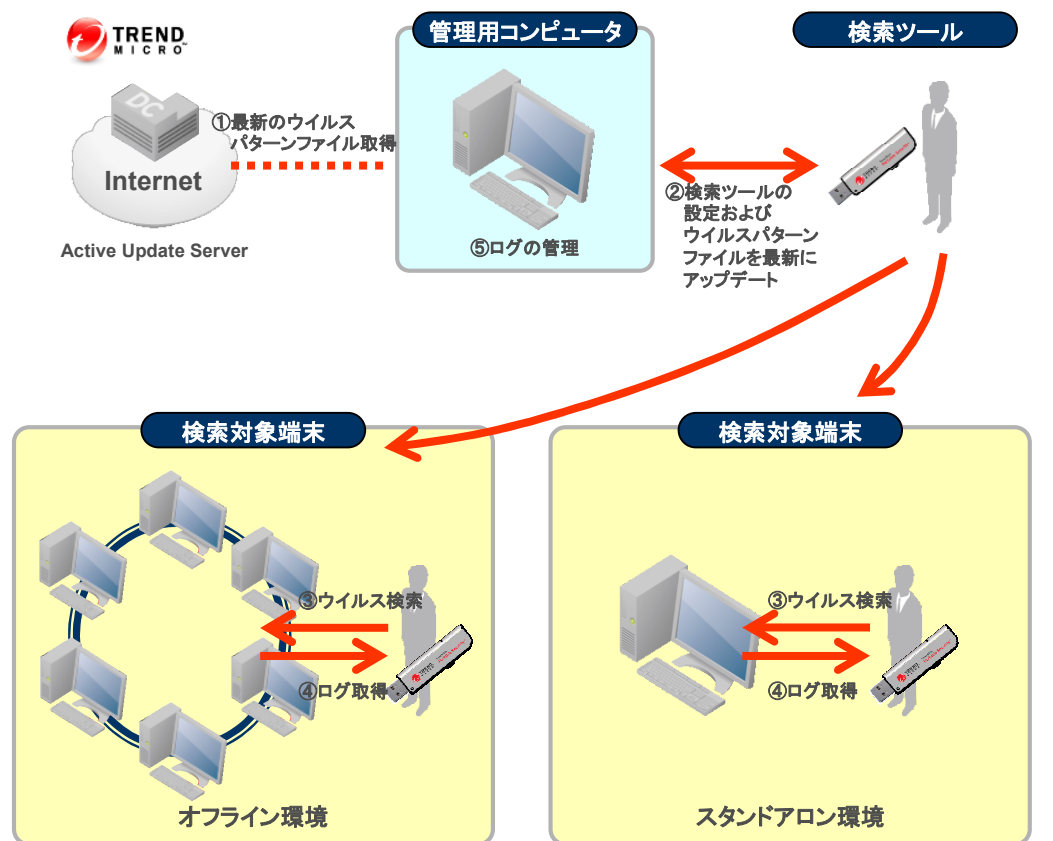
SaaS型 URLフィルタリング



Trend Micro Portable Security

利用イメージ:オフライン端末のウイルス対策

オフライン環境にある端末に対して
最新のパターンファイル*1にてウイルス検索を行なうことができます。



USBメモリ型ウイルス検索・駆除ツール

- オフライン端末でも最新パターンファイルでウイルス検索
- 検索対象端末にウイルス対策ソフトのインストール不要
- ログの一元管理

*1 管理用コンピュータにてパターンファイルをアップデートした時点での最新のパターンファイルにてウイルスチェックを行います。

*2 ウイルス検索時に、一時的に検索対象端末にドライバおよびローカルHDDにファイルを作成しますが、検索終了後、検索対象端末に当該ドライバおよびファイルは残りません。

Trend Micro Portable Security

機能

管理プログラム	
ウイルスパターン ファイルのアップデート	最新のウイルスパターンファイルを適用します。
検索ツールの設定	・フォルダの指定：「全フォルダ」もしくは「指定フォルダ（複数選択可）」 ・検索アクション：「ウイルス検索のみ」もしくは「トレンドマイクロ推奨の処理*1」 ・検索モード：「カスタム」もしくは「マネージド」
ログ閲覧・管理	検索ツールのログを一元管理します。
ライセンス管理	ライセンス情報を管理します。

検索ツール	
検索対象端末の ウイルス検索	管理プログラムの設定情報をもとに、検索対象端末をウイルス検索します。
ログ取得	検索対象端末でウイルス検索したログを検索ツールへ保存します。
USBメモリへの ウイルス侵入防止	Trend Micro Portable Security（以下TMPS）本体がウイルス感染をしないようにウイルス検索を行います。

*1 隔離、駆除、放置などから各ウイルス/不正プログラムの種類に適した処理を施します。推奨の処理方法は定期的に見直され、最新版にアップデートする際に変更される場合があります。

* TMPSにリアルタイムスキャン機能はございません。

* TMPSはお客様の任意データの書き込み領域を持たないため、通常のUSBメモリとしては使用できません。

* 管理用コンピュータのウイルス検索は行いません。

価格

	新規購入	最低購入本数
新規購入価格	24,800円/本(税別)	10本
追加購入価格	24,800円/本(税別)	5本
更新価格	19,800円/本(税別)	10本

* 追加購入分の契約期間は、既に保有している契約期間に準じます。

* 本製品のスタンダードサポートサービスメニューでは、未知のウイルスの解析および、詳細なウイルス駆除方法を含む情報提供等はご利用いただけません。

* TMPSのウイルスに関するお問い合わせのサポート範囲については、<http://esupport.trendmicro.co.jp/Pages/Jp-2076913.aspx> を御参照ください。

Trend Micro Portable Security

動作要件

	管理用コンピュータ	検索対象端末
OS	Windows XP Professional SP1 / SP2 / SP3 (32bit版のみ) Windows Vista Business / Enterprise / Ultimate SP1 / SP2 (32bit版のみ) Windows 7 Professional / Enterprise / Ultimate (32bit版のみ)	
CPU	Windows XP : Intel Pentium Processor 350MHzまたは同等スペックのCPU Windows Vista、7 : Intel Pentium Processor 800MHzまたは同等スペックのCPU	
メモリ	Windows XP : 256MB以上 (512MB推奨) Windows Vista、7 : 512MB以上 (1GB推奨)	
HDD空き容量	300MB以上	200MB以上
ソフトウェア	—	Internet Explorer 6.0 以上*1
ディスプレイ解像度	1024 × 768以上 High-color (65536色)以上	

*1 検索対象端末にて検索ツールを動作させるためのUI表示用に必要です。

* 日本語OS及び英語OSへ対応

* TMPSバージョン1.1では、U.Iは日本語と英語表記が選択かのです。

* 記載されているOSの種類やハードディスク容量などは、OSのサポート終了やトレンドマイクロによる製品改良などの理由により、予告なく変更される場合がございます。

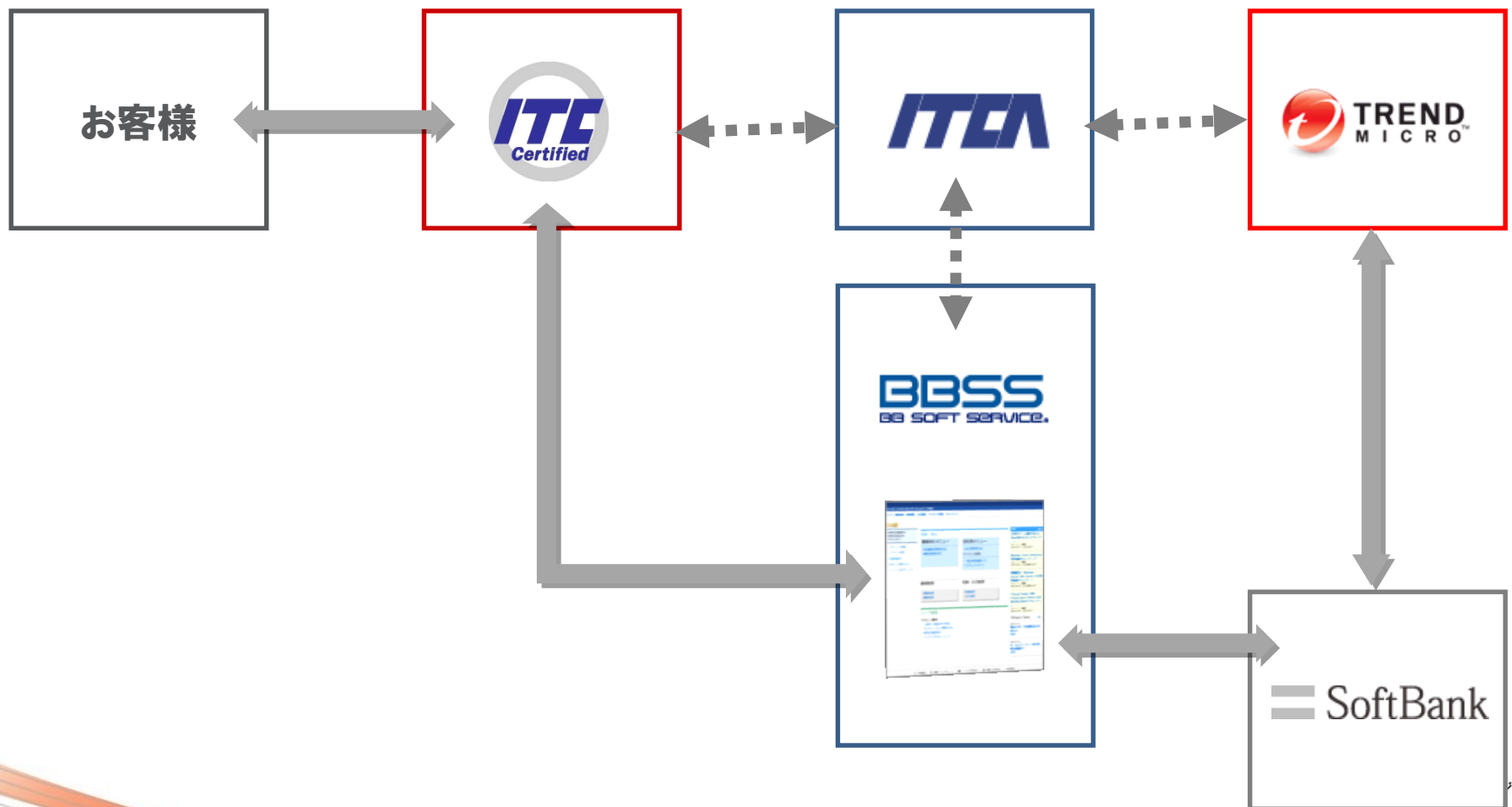
* Windows 2000環境におけるTMPSのサポート内容については、<http://esupport.trendmicro.co.jp/Pages/JP-2077284.aspx> を御参照ください。

製品の最新
情報はこちら

<http://jp.trendmicro.com/jp/products/enterprise/tmps/>

ビジネスモデルについて

協業モデルについて



会社概要

社 名	BBソフトサービス株式会社
代表取締役社長	溝口 泰雄
設 立	2006年1月17日
本 社 住 所	天王洲オフィス(ライセンスオンライン事業) 東京都品川区東品川2丁目2番20号 天王洲郵船ビル 23F
株 主	ソフトバンクBB株式会社(100%)
社 員 数	107名(2010年4月1日現在)
事 業 内 容	ソフトウェアのオンライン販売、ダウンロード販売、及び、 マーケティング、アウトソーシング、関連サービスの提供 ブロードバンドを利用したコンシューマ・SOHO用アプリケー ションサービス、オリジナルアプリケーションサービスの企画・ 開発 他

安心を、ひとつ上のステージへ。



TREND
M I C R OTM